

3 1 章 ルクマーン (ルクマーン)

[31:0] 慈愛深き、慈悲深い、神の御名において

[31:1] A. L. M. *

* 3 1 : 1 これらのイニシャルの重要な役目は、付録 1 を参照

[31:2] これらは (文字) この本の知恵の証明を構成している。

[31:3] 正義者達への光明と慈悲

[31:4] それらは、交信の祈り (サラット) を遵守し、義務の慈善 (ザカット) をあげる、そして来世について、彼らは絶対的に確かである。

[31:5] 彼らは彼らの主からの導きについていく、そして彼らは勝者である。

[31:6] 人々の中には、根拠のないハディースを主張する者達がいる、だから、したがった知識なしで神の道から他の者達をそらせ、それを軽々しく取る。これらは恥ずべき天罰をこうむったのである。

[31:7] そして私達の天啓が彼らの一人に朗唱される時、彼は傲慢にそむく、まるで彼がそれらを一度も聞いたことがないかのように、まるで彼の耳が聞こえなくなったかの様に。

[31:8] 確かに、信じ、正義な人生を送る者達は、無上の喜びの庭を得るに値する。

[31:9] 永遠に、彼らはそこに住む。これは本当の神の約束である。彼らは無制限の力を持つお方、全能なお方、最も賢いお方。

[31:10] 彼はあなた方が見ることができるように、天を柱なしに創造した。彼は、あなた方にそれが崩れてこないように、地球に安定させるもの (山々) を確立した、そして彼はその上に、あらゆる種類の創造物を分布させた。私達はあらゆる種類の美しい植物を育てるために空から水を送った。

[31:11] 神の創造とはこのようなもの、あなた方が彼の隣に置いた偶像達が創造したのを見せなさい。まったく、違犯者達ちは、深く迷うのである。

ルクマーンの知恵

[31:12] 私達は、ルクマーンに知恵を賦与した、「あなた方は神に感謝しなければいけない。」誰でも感謝する者は彼自身のために感謝しているのである。感謝しない者達にとって、神は必要でない、称賛に値するお方。

[31:13] ルクマーンが、彼の息子を教え導くために言ったことを思い出しなさい、「おお、私の息子よ、神の隣にどんな偶像も置いてはいけない、偶像崇拜は酷い不正行為である。」*

* 31 : 13 あなた方はどのように思うだろうか、もしあなたが子供の面倒み、彼に最高の教育を与え、人生のために彼を準備して、他の者にお礼を言う彼を見るためだけ？ 偶像なんてこのようなもの、不正である。

2 番目の命じ

[31:14] 私達は人間に、彼の両親を尊敬することを命じた。母親は彼を出産した、そして荷がだんだんと重くなった。乳離れするまで、2年間（の集中的な育児）がかかる。あなたは私とあなたの両親に感謝しなければいけない。私が最終の運命である。

[31:15] もし彼らが、あらゆる偶像を私のとなりに置くことを強制するならば、彼らに従ってはいけない。しかし、継続してこの世で円満に待遇しなさい。あなた方は私に服従する者達の道だけについていかなければいけない。最終は、あなた方はすべて私に戻るのである、それから私はあなた方がしたことすべてをあなた方に知らせるでしょう。

ルクマーンの助言

[31:16] 「おお、私の息子よ、辛子の種の様に極めて小さいものと同じようなもの、深い石の中でも、それが天にあらうが、地にあらうが、神はそれを持っていくことを知っていなさい。神は、崇高なお方、認識されるお方。

[31:17] 「おお、私の息子よ、あなたは交信の祈り（サラット）を遵守しなければいけない。あなたは正義を主張し、悪を禁じ、苦境に直面した時、断固たる決意で留まる。

[31:18] 「あなたは人々を傲慢に待遇してはいけない、また地上で偉そうに歩き回ってはいけない。神は傲慢に見せびらかす者達を好まない。

[31:19] 「腰を低くして歩き、声を低くしなさい—不快な声はロバの声。」

[31:20] 神は天と地に、あなた方の奉仕へすべてをゆだね、そして彼の恵みを—明らかにそして隠れて—あなたに示されたのをあなた方は見えないのか？ それにも関わらず、人々の中には知識なしに、そして啓蒙な經典なしで、神について論争する者達がいる。

両親にむやみについていくのは
よくある悲劇

[31:21] 彼らが 「神のこれらの天啓に従いなさい。」と言われる時、彼らは言う、「いいえ、私達は我々の両親がしていることだけについて決まる。」 悪魔が彼らを地獄の激しい苦痛へ導いていたならば？

最強のきずな

[31:22] 神に完全に服従する者達は、正義な人生を送る間、最も強いきずなを手に入れたのである。神がすべてのことを完全に支配している。というのも、神はすべてのものを全制御している。

[31:23] 不信する者達に関しては、彼らの不信を悲しく思っはいけない。私達へ、彼らの最終の帰るのである。それから私達は彼らに彼らがしたすべてのことを知らせるのである。神は最も奥深い思いを十分に気づかれておられる。

[31:24] 私達は、彼らを臨時の間楽しませる、それから彼らを厳しい天罰に送り込む。

彼らは神を信じている

[31:25] もしあなたが彼らに、「誰が天んと地を創造したか？」と尋ねたならば、彼らは、「神だ。」と言うであろう、言いなさい、「神を讃えよ。」、しかし彼らのほとんどはわからない。

[31:26] 天と地のすべては神に所属する。神はもっとも豊富なお方、最大の称賛に値するお方。

これらが私たちが必要なすべてのお告げ

[31:27] もし地球のすべての木がペンになって、海がインクを供給し、それを7つの海によって増大させても、神のお告げがなくなることはない。神は無制限の力を持つお方、最も賢いお方。

[31:28] あなた方すべての、創造と復活は、一人のものと同じである。神は聞いているお方、見ているお方。

神のみ、価値ある崇拜

[31:29] あなた方は、神が夜を昼に合流させ、昼を夜に合流させていることに気が付かないのか、そして彼は太陽と月をあなた方の奉仕へゆだねた、それぞれは、的確な寿命の間、その軌道を走っている、そして神があなた方のするすべてのことを完全に認識されていることに気づかないのか？

[31:30] これは、神が真実であることを証明すると同時に、彼らが彼の隣に置く偶像が偽りであることを証明する、神はもっとも高い身分のお方、最も偉大なお方。

[31:31] いくつもの彼の証明をあなた方に見せるために、船が海を移動し、神の供給を運んでいるのをあなた方は見ていないのか？全く、これらは、断固たる決心で、感謝をするもの皆のための十分な証明であるべきである。

[31:32] 激しい波が彼らを取り巻く時、彼らは神に懇願する、真心をこめて彼らの祈りを彼らだけに捧げる。しかし彼が彼らを沖に助けるとすぐ、彼らの中の幾人かは逆戻りする。裏切る者達、感謝をしない者達以外は、私達の天啓を捨てる者はいない。

[31:33] おお人々よ、あなた方はあなた方の主を崇敬しなければいけない、そして父親が彼の子供を助けることも、子供が彼の父親を助けることもできない日を恐れなさい。確かに、神の約束は真実である。それゆえに、この人生に注意をそらされてはいけない、単なる幻覚によって、神から注意をそらしてはいけない。

私達が知っているかもしれないし、
知らないかも知れない事々*

[31:34] 神にはその時間について（この世の終わり）の知識がある。彼は雨を送る唯一のお方、そして彼は子宮の中身を知っている。どの魂も明日それに何が起きるか知らない、そして誰も彼または彼女がどこの土地で死ぬかは知らない。神は全能なお方、認識しているお方。

* 31 : 34 神は彼の知識を彼が意志する時いつでも啓示する。この節から私たちは雨や胎児の性別を予測することができるかもしれないことを学ぶ。しかし私達は、いつ、どこで死ぬかは、決してわからない。72 : 27によると、神は彼の聖約の使徒をとうして、この世の終わりを啓示した。15 : 87、30 : 15、そして付録25の詳細を参照

この章までの**神**の累積回数＝

1960

この章までの**神**がでてくる節の番号の累積合計＝

105254